

① 長与町の交通体系充実のための大村湾浮橋構想について

本町の交通体系の充実のため、町内交通網の体系的、計画的な整備に取り組むとともに、美しい潤いのある道路づくり、安全に配慮した道路づくりを推進する必要があります。そこで長与町は、昭和49年1月発行の第1次長与町総合開発計画において、物流機能の強化、地域経済の発展、観光振興のため大村空港から長与町の堂崎地区に橋を架ける、いわゆる箕堂架橋構想を打ち上げたのであります。吉田安親町長の1期目であります。時あたかも長崎空港開港1年前であります。その後ずいぶん時間が経過いたしました。約6年前の平成22年1月の新聞紙上におきまして、大村湾を越えて大村市や西彼地区などをつなぐ『浮橋（フローティング・ブリッジ）構想が報道されました。それは、観光や交通システムの改善などの県勢浮揚に向け、大村市や長崎大学、三菱重工など産学官が一体となった取り組みで、環大村湾の各自治体を巻き込んだ協議会の発足を目指す。との事でありました。その後、平成25年6月13日の新聞報道によりますと、田上長崎市長は『関係自治体と意見交換したい』との考えを示されたようであります。私は、これらの情報から、平成26年3月定例会におきまして、この大村湾浮橋構想について、取り組みの状況を質問してまいりました。その翌年の、平成27年11月21日の報道によりますと、長崎市の田上市長は20日、『経済波及効果の調査費を来年度の一般会計当初予算に盛り込む』意向を示したとの事でありました。さすが長崎市長であり、夢のある長崎市づくりを目指すすばらしい決断であると思いました。そこで長与町の快適な交通体系整備のため、その実現の可能性を含め、以下について質問いたします

(1) 今日までの取り組み状況について

(ア) 平成26年3月の浮橋構想についての質問に対して、『大村湾を生かしたまちづくりネットワーク会議』を、4月発足に向けて準備会が開かれるとのことでありましたが、予定どおり4月に発足したのですか。

(イ) この会議のメンバーは、大村湾沿岸自治体の5市5町とのことでありましたが、変化はなかったのですか。

(ウ) 具体的な活動として、平成26年度は首長サミット、大村湾フェスタ等イベントが計画されているとの答弁をされていましたが、予定どおり開催されたのですか。また平成27年度はどのような活動をされたのですか。

(2) 今後の取り組みについて

(ア) 前回の再質問でも、このネットワーク会議に、長崎県を入れるべきであると提案しておきましたが、県は入っていないのですか。

(イ) 平成28年度はどのようなことが計画されているのですか。また、4月から今日までの活動と、浮橋構想の議論はあっているのですか。

(ウ) 今後、浮橋構想については、このネットワーク会議の中心的な取り組みとして、中期（5ヵ年計画）、長期（10ヵ年）計画等を策定して、実現に向け一步一步進めることが必要であると思えます。関係市町との連携等により、浮橋構想実現に向けた取り組みについての見解を求めます。

(エ) このネットワーク会議で浮橋構想の議論が適当でないとするならば、大村市・長崎市・長崎県・長与町・時津町などの関係機関を以って、新たな組織を立ち上げる方策もありますが、町長の見解を求めます。

② 中尾城公園内の公園施設について

中尾城公園内のスパイラルスライダーは、公園の開園と合わせて、設置されたものと承知いたしております。全長63m、高低差26mのらせん状の滑り台です。

去る6月の定例会において、『和解及び損害賠償の額を定めることについて』の議案が提案されました。この事故は、滑り台のスパイラルスライダーで、出口手前での直線付近で速度が上がったため、速度を下げようとスライダーの側面に左足を押し当て、その折左足を骨折したというものであります。このことにより、スライダーの使用は事故発生の平成27年7月から中止状態となっています。町ホームページには、(点検及び改修工事のため使用中止)(使用中止期間については未定)となっています。そこで以下について質問いたします。

- (1) 開園以来スライダーを含め大小の事故が発生していると聞き及んでいます。が、公園施設別に、事故発生の年月日、事故発生内容と原因、支払い保険金額についての実態はどのようになっていますか。
- (2) スパイダルスライダーによる今回の事故は、平成27年7月19日に発生し、以来使用中止となり約1年半が経過しています。スライダーのどこかに、事故発生の原因がなければ、事故は発生しなかったのではないのでしょうか。その事故原因は、何であったのですか。
- (3) 事故発生以降、事故発生への対応、再発防止対策(施設を含めて)などに苦慮されているのではないかと案じていたところであります。今日までの取り組みと今後の対応策についてお聞きいたします。